KOGAOMO

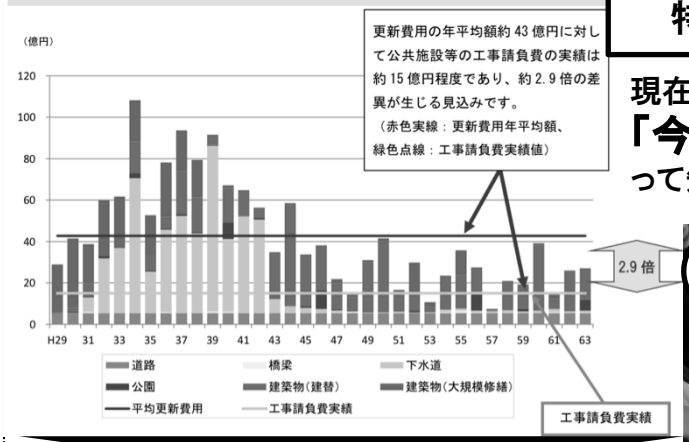
噂の
こがおもマガジン

小金井市を、もっとおもしろく。

発行・責任編集：
小金井市東町4-43-1
三楽荘B号室
白井とおると
小金井をおもしろくする会

ほぼ月刊版
VOL.39
2016年11月11日発行号

35年間の更新費用総額：1,497億円（年平均43億円）



今月の特集記事

裏面で詳しく！

10/23、小金井市議会初の議会報告会へ行ってきました。

現在の規模の公共施設は
「今後維持できなくなる」
って知ってました？

裏面で
11/19、政策づくりのオープンミーティング、やります（@宮地楽器ホール）

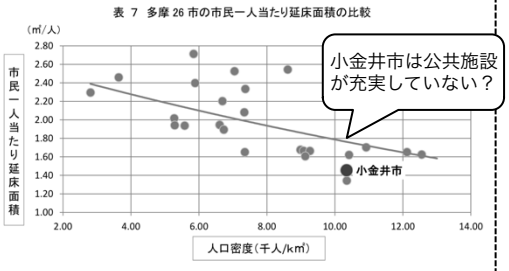
裏面で
「一切、ゼロベースです」

市長の代わりに、副市長が公約撤回を宣言したってホント？

隠れた危機。「公共施設更新問題」と向き合おう。

小金井市は、公共施設等の総合的かつ計画的な管理を推進するため「小金井市公共施設等総合管理計画」の策定に向け昨年度から取り組んできました。高度経済成長期の急激な人口増加を背景に小中学校をはじめ道路・下水道など様々な公共施設を比較的短期間に整備してきました。そのため、現在築年数30年以上経過する建築物が6割を超え、早急に再整備が必要とされる老朽化した施設も多く存在するため、計画的な整備の方針と具体的なプランが必要となっています。

表 7 多摩 26 市の市民一人当たり延床面積の比較



更新にかかる費用は今の約3倍必要

「小金井市公共施設等総合管理計画（案）」によると、建築系と土木系の公共施設を合算した今後35年間想定での更新に必要な費用は約1,497億円、1年あたりの平均額は約43億円と試算されています。直近の5年間（平成22～26年度）の公共施設等に関する投資金額の1年平均は約15億円であることから、今後はその3倍近い額を支出する計算となります。しかし、長期的には税収減も想定され、市の年齢別の人口構成も変わっていくことも踏まえ、公共施設に対するニーズをとらえ直す必要があります。現状の公共施設を総じてそのまま更新するのではなく、時代のニーズに合わした姿へ変えていく更新プランが重要なのです。

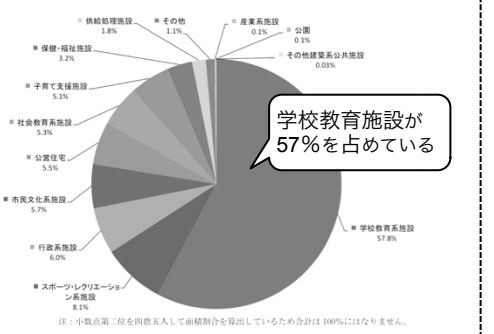


図 18 公共施設の用途分類（大分類）別・延床面積の割合

住民一人あたりの公共施設床面積は多摩26市で最低ライン。鍵は学校施設

右の図に示した通り、小金井市の公共施設（建築系）の住民一人あたりの床面積は多摩26市で最低ラインであり、公共施設そのものが不足気味であることがわかります（ただし、人口密度が同じくらい高い自治体は武蔵野市を除き同様の傾向あり）。その中で約6割を学校教育施設が占めており、市が当計画（案）で示している「縮減・複合化」は学校施設を除いて実現できるものではなく、公共施設の床面積を合理化していく方向性（総論）は賛意を得られても、個別のアクションプラン（具体的な縮減・複合化策＝各論）には反発が出ることが予想されます。そこでまず大切なのは住民にこの状況を伝え、周知していくことです。

学校建て替え等の基金もゼロ

経年分類	学校教育施設		
	延床面積(㎡)	構成比	
10 年未満	336.67	0.3%	7.8%
10 年以上 20 年未満	200.32	0.2%	
20 年以上 30 年未満	7,738.69	7.3%	
30 年以上 40 年未満	35,792.59	33.6%	92.2%
40 年以上 50 年未満	46,220.01	43.4%	
50 年以上 60 年未満	16,217.43	15.2%	
合計	106,505.71	100.0%	100.0%

上記図いずれも「小金井市公共施設等総合管理計画（案）」より引用

皆さん、公共施設についてどう感じてますか？

この計画（案）の策定過程では、アンケートと市民意見交換会を各1回実施したのみです。残念ながら複数回開催すべきという意見も無視され、11月5日に開催した市民説明会も参加者6名と閑古鳥が鳴く状況でした。行政が「叡智を結集する」というなら、住民を巻き込んで合意形成をはかる取り組みがもっと必要です。広報が不充分ですが、あらゆる公共施設がテーマであることから、私たちは老若男女問わず、みんなで考えなければなりません。

ということで…

皆さんの生活にも関わること。多様なご意見を！

市でパブコメ募集中

対象：市内在住・在勤・在学の方、市内に事務所や事業所を有する法人またはその他の団体

期間：募集中～平成28年11月30日（水）迄

小金井市HPでも募集について詳しく掲載されています。サイト内検索窓で「総合管理計画　意見」で検索するとリンクが出てきます。詳しくは企画政策課へお問合せください。（042-387-9800）

REPORT 小金井市議会「初」の議会報告会に参加してきました。

小金井市議会は6年近い歳月をかけ議論を繰り返し「議会基本条例」を策定し、8月から施行しています。ここに議会運営と議会活動の指針をルール化しました（これまでも規則やルールブックは存在してましたが）。条例を制定したことで、市民のための議会としての役割を果たし、市民に対してより開かれた議会となるように努力し続けることが求められます。そして、条例に明確に位置づけられたのがこの議会報告会です（年1回以上という規定）。

課題が多いのは仕方なし。今後の改善に期待

議会でどのように議論したのか、その説明責任を果たし、幅広い市民から市政に関する意見を吸い上げ、今後の議会運営や議決・政策提案に活かしていくことを目的として全国でも数多く開催されています。市政に関心の高い人を中心に約60名の来場があり、興味関心の高さが伝わってきました。初めての開催ということもあり今後の課題も浮き彫りになったことは良いと思います。

今後の課題・気になったこと

▼議会報告会の位置付けの解説が必要

報告会を開催した後のフローが明確ではない。意見や要望を「どう今後に活かすか」を明確に示すべきだったと思います（例：整理後実行委員でMTG→開催報告と出た意見のHPでの公開→取り組むことの優先度・緊急度の仕分け→実行スケジュールの提示）。

▼過去最長の時間を有した平成27年度決算審査に関して深掘りの報告が欲しかった

5分程度でざざっと概要だけお伝えし採決結果を出して終わり、では納得いかない。決算審査は次の予算編成に大きく影響するはず。特に議題になったテーマや今後の改善見込みなど、もう少し深掘りして説明することが市民への説明責任を果たすことではないか

▼二元代表制の議会の役割についての解説が欲しかった

議員・議会の役割をしっかり理解してもらってこそ、議会に対する的確な意見＆要望を吸い上げることができるのではないでしょうか。

▼全体での質疑もやるべきだった

各テーブルでの意見交換もあるが、定例会報告での質疑もあってよかったのでは。

▼テーブルごとの意見を最後に共有してほしかった

こんな意見、あんな意見出ましたよレベルで結構。

HEADLINEニュース

▼市長の代わりに副市長が実質的な「6施設複合化」公約撤回の宣言

西岡市長が自ら「最大の公約」と発言していた新庁舎6施設複合化「ゼロベース」について、10月24日に開催された小金井市議会厚生文教委員会にて、本人からではなく副市長から今後の展開について言及がありました。それによると、「各担当部局へ新たな具体策を考えるように指示した」「ゼロベースなので福祉会館の規模、業務の内容、場所、一切ゼロベースです」と答弁しました。6施設（福祉会館＋庁舎＋公民館＋図書館の4機能）複合化から4施設（福祉会館＋庁舎の2機能）複合化へ方針転換したまでは良かったものの、これで福祉会館までも場所も含めてゼロベースということは、公約撤回したことになりました。

意外と知られてない

小金井のココがスゴい！Vol.1

全国初、全額地元負担した請願駅

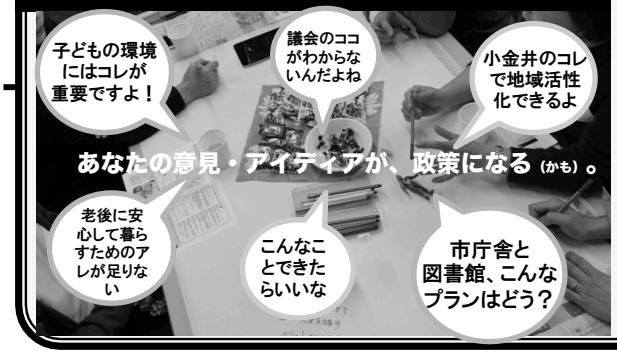
JR東小金井駅は、駅をつくるにあたり、日本で初めて「全額を地元で負担した請願駅」です（1964年開業）。「請願駅」そのものの全国初は、しなの鉄道の大屋駅といわれています。先人の皆さんの努力があってまちが成り立っていることを改めて実感させられます。

これ、みなさんどう思いますか？

テーブルごとの意見交換メモや、議事録的なもの、「6施設複合化」についての各会派からの発言原稿などは、**一切議会HPで公開しない**ようです。

行政には何かにつけて「議事録を公開せよ」「情報公開を」と厳しく求めるのに、自分たちの情報公開には甘すぎる体質

11月こがおもツキイチ勉強会/特別企画



こがおも★政策づくりオープンミーティング

定員：先着20名

小金井市政に関して感じている疑問や課題、「こうだったらいいのに」というご意見を聴かせてください。「こがおも」として、今後市政に提案・要望していく政策づくりの参考に多様な方の声を聴かせて頂きたいです。

11/19（土）15:00 14:45開場・17:00終了予定

＠小金井宮地楽器ホール（1F）スペースN

誰でも参加OK！
参加無料／申込不要

直接会場にお越し下さい

お問合せ　kogaomo@gmail.com　080-7006-8964（白井）

白井とおると 小金井をおもしろくする会　代表　白井 亨（しらいとおる）

元小金井市議会議員

白井とおると小金井をおもしろくする会代表。1975年生／大阪府枚方市生まれ・育ち。2007年に転勤で偶然小金井市に住みつく／3歳と6歳の子育て中。約6年前まで“無関心市民”、小金井市は“寝に帰るだけのまち”だったところ、2010年子どもが生まれたことがキッカケで地域デビュー。2013年3月、13年間勤めた会社を辞め「地盤・看板・カバンなし」で選挙素人市民だけで小金井市議会議員選挙を戦い初当選。完全無所属。2015年10月末で議員辞職し小金井をみんなで、ホンキで変えるため同年12月の市長選挙に立候補するも惜敗。今、再び会社員（認知症予防プログラム開発・新規事業立ち上げ、企画・マーケティング）。

【これまでの実績】

▼自身の一般市民時代の感覚をもとに、市役所改革（行財政・人材育成・ガバナンス）、保育園待機児童問題、子育て環境の充実、シティプロモーション、オープンガバメント、市民主体のまちづくり、2025年問題、議会改革などに取り組む

▼議員時代、誰でも参加できる「議会カフェ」をほぼ毎月開催。素人でもわかりやすく、市政状況を解説し意見を引き出す「対話」を地道に実行

▼第8回マニフェスト大賞「優秀ネット選挙・コミュニケーション賞」受賞、第10回同賞再受賞（H25年小金井市議会新人議員チームの取り組み）

▼毎日フォーラム、日経グローカル、政治山、政治美人などメディアへの寄稿・取材多数

アンバサダー（会員）募集！！

一緒に活動、または活動を応援してくれませんか？（年会費2,000円）ご興味のある方は、お気軽にお問合せください★会員になると→こがおもマガジンの郵送、定期メルマガ配信で市政情報がまるわかり！

寄付も受け付けてます（^^）

遠慮なく、お気軽にご意見ください★

kogaomo@gmail.com

twitter @shirai106

facebook facebook.com/shirai106 facebook.com/kogaomo

Ameba ameblo.jp/toru-ga-toru/

WEB事務所 http://kogaomo.com/

東町4-43-1 三楽荘B号室